

令和元年度 麻生区市民提案型協働事業報告書

○ふるさとあさお体験冊子づくり事業

P 1

(ホームタウンプロジェクトあさお)



令和 2年 2月 26日

## 事業結果報告書

（あて先）川崎市麻生区長

団体名	ホームタウンプロジェクトあさお
-----	-----------------

### 1 事業結果

事業名	ふるさとあさお体験冊子づくり	
実施時期	令和元年 5月 10日 ～ 令和 2年 3月 6日	
事業費	予算額	698,066 円
	決算額	677,513 円
実施結果	<p>（具体的な実施内容及び成果物、開催回数、参加人数など）</p> <p>第6期区民会議の提言の具現化として、親子で楽しめるあさおの魅力を紹介する冊子を作成しました。「親子体験イベントガイド：知るあさお楽しむあさお」を完成し、区内小学校で配布しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>冊子イメージについては、麻生区役所企画課及び冊子紙面作成を依頼するエリアブレインと5月に協議を行い、イメージを一致させて作成作業を行いました。</li> <li>5月下旬には、取材団体の絞り込みと取材の役割分担、取材項目について決定し、6月より取材協力のお願いと調査票を作成して取材を行いました。</li> <li>9月開催の「あさお子育てフェスタ」では冊子イメージを掲示し、冊子のコンセプトを説明し、聞き取り調査を行いました。冊子発行に期待する意見が多数得られました。</li> <li>最新の情報を掲載するため、秋まで取材を行い、12月に校正に着手し、2月に印刷を行いました。</li> <li>事業期間内に9回の点検会議を行い、エリアブレインから担当者の出席を得て、アドバイスをいただきながら紙面を作成しました。</li> <li>麻生区役所企画課との協働で事業を進めたことで、小学校校長会において、小学校1・2年生に年度内に配布、令和2年度新1年生には新年度に配布する承諾を得ることができました。区立小学校16校に加え、桐光学園でも配布することができました。</li> </ol>	

	<p>7. 年度当初、3 学年分の児童に配布する冊子数を児童数から 6000 部で予算立てしてしていました。配布のために必要は部数が 5500 部と分かった段階で、必要経費の見直しを行い、8500 部印刷することができました。</p> <p>8. 作成した冊子は取材にご協力いただいた団体にも配布しました。</p>
<p>事業総括 (自己評価)</p>	<p>(当初の目標に対する達成度、事業を実施したことによって生じた効果、参加者の反応など)</p> <p>目標としたふるさとあさお体験冊子を完成することができました。親子で楽しめるイベントは区内各所で多く開催されていますが、掲載行事については、継続的であることや、麻生区の魅力の発見につながるかの観点のほか、公共性や公平性を保てるよう、十分に検討して進めました。</p> <p>今年度は冊子を作成し、配布までを行いました。冊子配布による効果は長期的な視点に立ってみていく必要があります。配布の対象者から、期待される情報になることをめざしていくことも目標としていきます。</p>

## 2 決算内訳

### (1) 収入

項目	決算額 (円)	内訳
委託料	698,066	
合 計	698,066	

### (2) 支出

項目	決算額 (円)	内訳
謝礼金等	0	
旅費・交通費	24,720	メンバー交通費：幹事会 9 回、子育てフェスタ、打ち合わせ会 2 回、作業
消耗品費	3,183	封筒、布テープ、インク、用紙等
印刷製本費	645,470	コピー代、冊子印刷製本代
通信運搬費	420	送料
使用料・賃借料	3,500	会議室料
保険料	0	
その他	220	振込手数料
合 計	677,513	

※項目が多い場合は行を増やすか、別の用紙（様式自由）に記載してください。

麻生区市民提案型協働事業 振り返り表

団体名	(ホームタウンプロジェクトあさお )
事業名	(ふるさとあさお体験冊子づくり )

視点	項目	判断	判断の主な理由
事業の成果について	事業目的は達成できましたか	①. 十分達成できた 2. ほぼ達成できた 3. あまり達成できなかった 4. 達成できなかった	冊子を完成させ、小学校に配布するところまでを目標に進め、達成できた。
	事業の成果に対する市民の満足度は十分でしたか	1. 十分満足していた 2. ほぼ満足していた 3. あまり満足していなかった 4. 満足していなかった	年度末に冊子を配布したので、市民の満足度は不明。
	事業の経費は適正でしたか	①. 大きな過不足なく適正に執行された 2. 見込みよりはるかに少なかった 3. 見込みよりはるかに多かった	当初、配布部数を予測して予算を組んだが、実人数より多くの部数が必要と分かった。他の経費が見込みより少なかったので、部数を増やすことができた。
	実施過程で問題は発生しましたか	1. 問題は発生しなかった ②. 問題が発生したが適切に解決できた 3. 問題が発生し、解決できなかった	最終校正のスケジュール管理が不十分だった。
	協働で実施したことにより、単独で実施するより効果をあげることができましたか	①. 十分効果があった 2. まあまあ効果があった 3. あまり効果がなかった 4. 効果がなかった	行政機関の協力が得られた。 小学校での冊子配布が実現できた。
協働の手法について	事業目的や目標の共有化のための協議は十分に行いましたか	①. 十分に行った 2. まあまあ行った 3. あまり行わなかった 4. 行わなかった	冊子イメージのすり合わせや中間点検での協議を行って進めることができた。
	協定書などの内容が、対等な関係になっていましたか	①. 対等な関係になっていた 2. まあまあ対等な関係になっていた 3. あまり対等な関係でなかった 4. 明らかに対等な関係でなかった	協議により相互理解を深め、事業を進めることができた。
	行政と団体で、役割分担や責任範囲の設定は適切でしたか	①. 明確かつ適切に設定できた 2. 明確だったが、適切でなかった 3. 不明確だった	相互の役割を明確にして進めることができ、責任を果たすことで冊子が完成できた。
	事業内容について、公開性・透明性が確保されていましたか	①. 十分確保できた 2. まあまあ確保できた 3. あまり確保できなかった 4. 確保できなかった	中間報告を行った。予算は適正に執行した。

今後の課題

第6期区民会議の提言に基づき、麻生区の子育て世代が麻生区に魅力を発見し、愛着を持ち、住み続けたいと思ってもらうことを目的に、冊子づくりを行い、配布まで実現できた。この冊子を子育て世代に活用してもらうには、様々な視点に立った発信をしていくとともに、活用できる内容に更にブラッシュアップしていく必要がある。

今年度は第6期区民会議のメンバー有志が市民グループを形成してスタートしたが、多様な視点からの提案が盛り込めるよう、メンバー個々の視野を広げる活動展開も必要になる。また、メンバー拡大も視野に入れた活動展開を図っていくことも求められる。